

☆第2土曜日・観察会

遊林会の活動が7月で15周年を迎えました。例年よりも早い梅雨明けでしたが、蒸し暑い中での作業日となりました。



遊林会の集合写真です

今月の観察会はしのっちです。観察会のテーマは、「いきものはどうやって子孫を残すか」でした。動物も植物もどうかして自分の子孫を残そうとしますが、その方法は大きく分けて「有性生殖」と「無性生殖」の2つがあります。有性生殖とは、人や鳥など多くの動物や花を咲かせる植物など、オスとメスがそれぞれの遺伝子を交換し、両親とは違う子どもを生む方法です。それに対して無性生殖とは遺伝子の交換がないので、親と全く同じ遺伝子を持った子供が生まれます（いわゆるクローン）。話が終わった後に、森の中に行ってみ頃の植物がどんな方法で子孫を残すか皆さんに考えてもらいました。まずは、水の中に咲いているバイカモです。山番さんにバイカモに紛れて生えているスギナ（ツクシ）や外来種のコカナダモを駆除していただいたおかげで、今年は花付きが良くなりました。さて、バイカモはどちらの方法を使うか皆さんに聞くと、「花が咲くから、有性やろ！」との声。正解は、有性生殖、無性生殖の両方使います。バイカモは種でも増えますが、根っこをのぼしてそこから新しい茎を伸ばす方法も使います。さらには、茎の一部分が流されても、そこから根が生えてまた増えることができるという離れ業も使います。

さて次は、オレンジ色で大きな花のヤブカンゾウです。この花が咲くと「夏が来た〜！」と思う花ですが、実はヤブカンゾウには花が咲いても種ができません。イチゴみたいに茎を横にのぼして増えます。最後は、くさはら広場でまだつぼみのオニユリや見頃が終わりを迎えたホ

タルブクロを見ながらどんな方法で増えるかを考えたり、捕まえたホタルで、ホタル提灯ができるかどうか、実際に実験をしてみました。



メリケンカルカヤで染めました

☆第2土曜日・作業内容

7月と8月は、暑いので作業はお昼までです。本日の作業メニューは3つ。1つ目は炭出しと炭詰めです。5月に伐採した枯れたドングリの枝をはじめ、最近でた薪や枝を入れ、先月炭焼き名人が焼いてくださった炭を窯から出し、出された炭は商品として販売できるように、はかりで計量して段ボールに詰めていきました。前回から詰める箱の形を統一し、炭の重さも同じにして、管理しやすくしています。1時間30分ほどですべての炭の箱詰めが完了、その後は昼食の炭火つけをしてもらいました。2つ目は、ササの手刈り作業でした。ドングリの子どもがたくさん育っている区域で、草刈り機では入れず、人の手で草刈りを行わないといけない場所です。蒸し暑く全身汗びっしょりになりながら、ササを刈ってもらいました。3つ目の作業は、昼食作り。毎年7月のお昼は焼き焼きパーティーが定番化しており、今回も焼き焼きの準備と、冷や汁、ピザを作りました。お昼ご飯の前に、遊林会の活動が15周年を記念して、集合写真を撮りました。

お昼は、会長のあいさつと焼き鳥名人による乾杯でスタート。暑い中「あつい！」と言いながら、炭火で野菜・シシモ・ウインナーなどを焼きながら、おいしい一時を過ごしました。

お昼ご飯のあとは、レクチャールームに移動し、遊林会の活動がはじまってまだ間もない頃に作られたビデオを見たり、活動の合間に撮っていた集合写真特集を見ていただきました。

8月の作業日は

8月10日（第2土曜日）、28日（第4水曜日）9時～（遅刻可）

遊林会の作業会議「森の居酒屋」は **8月7日（水）午後5時30分頃** *時間を変更しています

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先（遊林会事務局）：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえフォトログ」で検索！

☆第4水曜日の作業

24日の作業日は、朝から雨降りのため、屋根の下でできる薪割りと柴作り、薪棚の整理を行いました。この日は遊林会の活動を見学したいと野洲から9人、滋賀県立大学の野間先生と学生さんまもられ、一緒に作業をしました。作業をしながら、色んなお喋りができて楽しい活動日となりました。お昼は人数が増えた分、料理班が大活躍！茄子の炭火焼きやお魚の南蛮漬け、夏野菜のラタトゥイユなどなど。お客さんは豪華な料理にビックリ＆舌鼓でした。午後からは臨時で、クイズラリーのルート上にある枯れ枝の伐採をしました。野洲と県立大学組は丸橋さんのレクチャーと森歩きでした。

☆7月の木ままクラブ

18日に行った木ままクラブでは、枯れてしまった木の伐採を行いました。あまりの暑さのためか、または雨が降らなかったからか、モミジの林近くで2本の木が枯れてしまったのです。そのうち1本は、細くて小さな木のため簡単な作業だったのですが、もう1本はそこそこ高く、さらに倒しやすそうな方向にはサワシバというこの森で1本しか見つかっていない大事な木があったため、とても難しい作業でした。実はこの木の処理は専門の業者に頼もうかと思っていたのですが、現場を見ると自分たちでなんとかしたくなってしまうもの。議論の結果、あまり木を伐っていないエリアを少しだけ伐り開いて、そこにピンポイントで伐倒することになり、予定していなかったチルホールの出番となったのです。スタッフの心配をよそに、この日のメンバーはベテラン揃い！ぴったりの方向に倒すことができ、難なく無事に処理を終えることができました。

午後からは少しだけ夏休みクイズラリーの景品作りを手伝ってもらい、本当に助かりました。最後に食べたイベント用のかき氷の試食、とっても美味しかったですね！！

☆森のスタッフルーム情報

さて、7月に入り、暑い日が続きますが、ネイチャーセンターは相変わらずの冷房無しです。理由も同じく、暑さに慣れていないと、森に出て行かなくなる！という訳ですが…さて、今年はどれだけ暑かったのか、調べてみました。最高気温は7月11日の37℃！その週は36℃やら35℃やらものすごい気温が並んでいます。またまた調べてみると、4年連続で暑い夏が続くのは初めてだそうです。夏休みのクイズラリーに来る子どもたちがここ最近減っているのです

が、これだけ暑いとさもありなん、という気がします。

☆子どもたちは夏休み

夏休みがスタートです。それに合わせ、森では夏休みスペシャルクイズラリーや様々なイベントを行っています。7月23日の葉っぱコレクションというイベントでは、子どもたちと森の植物の標本を作りました。8月8日に図鑑に仕上げるので、どんなものが出来上がるのか楽しみです！7月26日に開催した「いきもの調査隊」は、昨年まで行っていたザリガニつかみ大会に替わるイベントです。毎年たくさんザリガニをつかんできたおかげで、ザリガニがかなり少なくなっているため、今年からは森と水辺の両方のいきものをつかみまくる内容に変更したのです。子どもたちは思い思いに虫や魚など色んないきものをつかみ、とっても賑やかなイベントとなりました。8月もイベントはまだまだ盛りだくさん！子どもたちに楽しんでもらえるよう頑張ります！

☆モリイコ！の子どもたち

第3回目のモリイコ！は、草木染めと草花遊びのプログラムです。輪ゴムやビー玉を使ってカバンに模様をつけ、「メリケンルカヤ」という草で染めていきます。染色はやる事が多くて大変でしたが、できあがったカバンはとってもきれいに染まっていました！また、「カラムシ」という葉でたたき染めも行い、カバンにつけるタグにしました。午後からは班行動で草花遊びに挑戦です。ちょっと難しいのもありましたが、いろんな草花遊びができてよかったです。

第3回目のモリイコ！Sは、ピザ作りと森探検のプログラムです。ピザは生地をこねるところからスタートしました。みんなでピザの具を切ったりピザ窯を組み立てたり、炭火をおこしたりと、みんなで協力して作ったピザの味は格別でした！午後は班行動で、森の中へ探検です。網を使って飛んでいる生き物を捕まえたり、タケノコの表面をルーペで観察したり、ササ舟を作って水辺に浮かべたり…。とても暑い日が続きましたが、みんな元気に楽しく活動することができてよかったです。

☆8月の作業は…

8月は午前中のみの活動です。お昼は男の料理！いつものおいしい焼きそばがお待ちしております。お昼からは、森の移り変わりを、遊林会の活動写真とともにお見せできたらと思います。ぜひみなさんお越しくださいね。